

## 水稲V溝乾田直播栽培の生育状況（7月19日現在）

### ■ 耕種概要等

- ① 品 種 まっしぐら
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種  
キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月28日
- ⑥ 播種量 乾粃 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度 (LP100)



播種作業の様子

### ■ 生育状況



写真 水深が浅い地点（左）と水深が深い地点（右）の生育状況

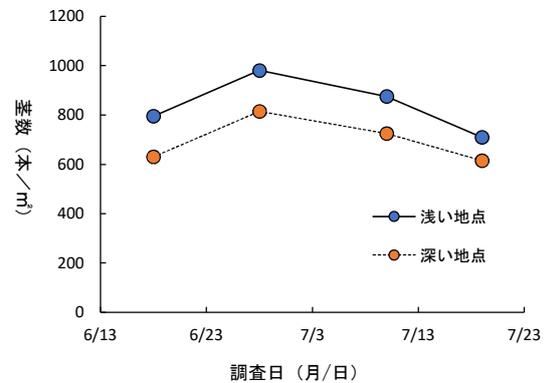
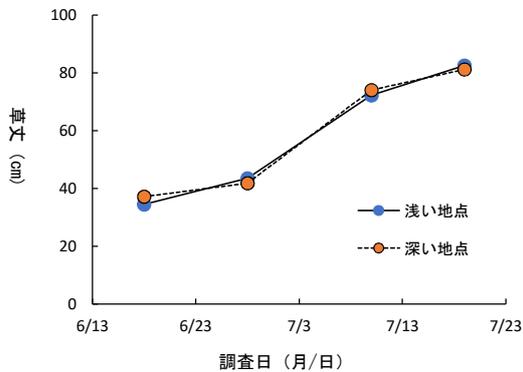


図 草丈（左）とm<sup>2</sup>当たり茎数（右）の生育の推移

7月19日現在のイネの生育は、水深が浅い地点（5cm程度）で草丈が82.6m、茎数が710本/m<sup>2</sup>、葉色値（SPAD-502）が28.9、水深が深い地点（10cm程度）で草丈が81.2cm、茎数が615本/m<sup>2</sup>、葉色値が30.3でした。

葉耳間長は6cm程度で冷害危険期に到達しています。

なお、7月19日以降の平均気温が平年並みで経過した場合、当圃場では8月2日出穂期に到達する見込みです。

## ■ 栽培管理のポイント

- ・ 向こう2週間の平均気温は平年並みの予想です。平均気温が20℃以下の日が続くような場合は、移植栽培と同様に深水かんがいを行ってください。



※気象庁ホームページ 2週間予報（7月19日、青森）から引用。